

## **あなたに天の御国の鍵を**

マタイの福音書 16章 13-20節

### **はじめに**

今日は、さがみのキリスト教会の創立記念礼拝です。特に今年は、創立三十周年の節目の年となります。この教会は、今から三十年前の1992年4月30日に礼拝が始まりました。韓国から来られた任泰教宣教師が、この町で福音を宣べ伝え、教会が建て上げられていきました。

この三十年の間に、多くの方がイエス様を信じて救われ、教会に加えられました。洗礼を受けた方は93名で、この教会に転入会された方は69名います。合計で162名の方がこの教会の教会員となりました。しかし現在の教会員数は、約30人です。そう考えると、この三十年の間で、約130人もの方が教会を離れて行きました。その多くは、韓国に帰られたり、国内で引越をされて、他の教会で教会生活をしておられます。しかし中には、天国に召された方もおられるし、信仰から離れてしまった方もおられます。

この三十年の間には、神様の豊かな祝福がありましたけれども、同時に神様の厳しい試練もありました。リーマンショックなどで多くの韓国人の信徒の方が一斉に韓国に帰国せざるを得なくなったこともありました。また現在の新型コロナウイルスで礼拝や教会活動ができなくなったことも大きな試練の一つでしょう。しかし、神様が祝福と試練を通して、この三十年間この教会を育て導いてくださいました。

人間の年齢で言えば、三十歳はまだ青年から壮年へと移行の時期と言えるかもしれません。もう若いとは言えない立派な大人であり、社会で働き、ある者は結婚して家庭を築き、あらゆる社会的責任を負う存在です。私たちの教会もその意味では、もう若いとは言えない、成熟へと向かわなければならない教会です。あらゆる面で、自立していかなければなりません。そこで今日は改めて、教会の土台と使命について聖書から学びたいと思います。

### **1. あなたは生ける神の子キリストです**

ある時イエス様は、弟子たちに「**人々は人の子をだれだと言っていますか**」と尋ねられました。これは、人々はイエス様のことを何者だと思っているか、という質問です。弟子たちは、ある人はバプテスマのヨハネだと思っていますとか、エリヤやエレミヤなどの預言者だと思っている人もいますなど、人々の反応をイエス様に伝えました。

するとイエス様は今度、弟子たちに向かって、「**あなたがたは、わたしをだれだと言いますか**」と尋ねられました。すると、ペテロが弟子たちを代表してこう答えます。「**あなたは生け**

**る神の子キリストです」。**

ペテロはまず、神様は今も生きていらっしゃる方だと考えます。天地万物を造られた神様は、今も生きていて世界全体と私たち人間の人生を導いておられると信じていたのです。そしてペテロは、イエス様こそ、その天地万物を造られて今も生きていらっしゃる神様のひとり子であると考えます。つまりイエス様こそ、神であると考えていたのです。さらにペテロは、イエス様こそキリストであると考えます。キリストとは救い主のことです。ペテロはイエス様こそ、自分たちを救ってくださる救い主だと信じていたのです。

このペテロの信仰告白に対して、イエス様はこう答えます。「**バルヨナ・シモン、あなたは幸いです。このことを明らかにしたのは血肉ではなく、天におられるわたしの父です**」。イエス様は、「あなたは生ける神の子キリストです」というイエス様に対する信仰をペテロに与えたのは、血肉ではなく、つまり人間ではなく、天におられる神様だと言われるのです。

当時の人々はみな、イエス様を預言者の一人としか考えることができませんでした。つまり一人の人間、神様に用いられた偉大な人間としか考えることができなかったのです。しかし神様は、イエス様が特別に選ばれた弟子たちには、イエス様こそ「生ける神の子キリスト」であるという信仰を与えられたのです。

私たちは、自分の力で、あるいは自分の知識で、イエス様を「生ける神の子キリスト」であると思えることはできません。神様に選ばれ、神様に心を開かれた人だけがイエス様をそのように信じることができるのです。その意味で、私たちはみな神様の恵みによって信仰を与えられ、救われたと言えます。人が信仰を与えられ、救われるのは人間の力によるものではありません。ですから私たちは、誰かに救われてほしいと願うなら、天におられる父なる神様に祈らなければなりません。神様が人々の心を開いて、イエス様への信仰が与えられるように祈らなければならないのです。

## **2. この岩の上にわたしの教会を建てます**

イエス様は、「あなたは生ける神の子キリストです」という信仰を告白したペテロに対して、このように言われます。「**そこで、わたしもあなたに言います。あなたはペテロです。わたしはこの岩の上に、わたしの教会を建てます。よみの門もそれに打ち勝つことはできません**」。

イエス様は、「あなたは生ける神の子キリストです」と告白したペテロの上に教会を建てると言われます。しかし教会は、ペテロ個人の上に建てられるのでしょうか。

ローマ・カトリック教会は、教会はペテロ個人の上に建てられると考えて、ペテロを初代ローマ教皇（法王）と考え、ローマ教皇（法王）をペテロの後継者として、教会の最高指導者と考えます。

しかしプロテスタント教会は、教会は決してペテロ個人の上に建てられるのではないと考えます。教会の土台はもちろんイエス様です。しかしその上で、教会は「あなたは生ける神の子キリストです」という信仰を告白する「使徒たち」（イエス様の弟子たち）の上に建てられると考えるのです。

使徒パウロはエペソ 2：20 で、教会についてこのように言っています。「**使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられていて、キリスト・イエスがその要の石です**」。パウロは、教会はペテロ個人の上ではなく、「使徒たち」の上に建てられると言っています。「使徒たち」というのは、イエス様の復活の証人であり、イエス様から直接、使徒として任命された人たちです。そしてもちろん、イエス様を「生ける神の子キリスト」と信じる人たちです。

教会は、「使徒たち」の上に建てられます。「使徒たち」は、「旧約聖書」を用いて、イエス様こそ「生ける神の子キリスト」であると証言しました。また、イエス様こそ「生ける神の子キリスト」であるという証言を「新約聖書」にまとめました。その意味で、教会が「使徒たち」の上に建てられるとは、教会は「聖書」の上に建てられると言えます。

聖書は、旧約聖書も新約聖書も、イエス様こそ「生ける神の子キリスト」であると証言する書物です。イエス様は、教会を「わたしの教会」と言われましたが、この聖書の上に教会が立てられる時、イエス様こそ「生ける神の子キリスト」であると信じる人たちが集められた、イエス様の教会が建て上げられるのです。

その意味で教会は、聖書が正しく説教され、一人一人が聖書を正しく読んでいく時に、人々が救われ、成長し、建て上げられていくのです。教会がもし聖書に堅く立っていくなら、よみの門も打ち勝つことはできません。「よみ」とは、死を意味します。

教会は決して、死に飲み込まれることはありません。イエス様の復活のいのちに与っている教会は、決して死に飲み込まれることはないのです。今、新型コロナウイルスの脅威によって多くの方が亡くなられ、教会も共に集まって礼拝をすることができないこともあります。しかし、死は決して教会を飲み込むことはできないのです。教会は、どんな状況でも神様を礼拝することを止めません。教会は、神様に選ばれ、イエス様によってキリストのからだとして互いに結ばれた者たちなので、たとえ共に集まることができなくても、決して離れ離れになることはないのです。またたとえ肉体の死によっても離れ離れになることはないのです。私たちは、永遠のいのちを与えられ、永遠にイエス様と、またキリストのからだであるお互いと堅く結ばれているからです。ですから私たちは、どんな時でも、また最後まで聖書に堅く立っていきたいと思うのです。

### **3. あなたに天の御国の鍵を与えます**

イエス様は 19 節でペテロに、こう言われます。「**わたしはあなたに天の御国の鍵を与えます。あなたが地上でつなぐことは天においてもつなぐれ、あなたが地上で解くことは天においても解かれます**」。イエス様はペテロに、「天国の鍵」を与えると言われました。これもまた先ほどと同じことですが、この「天国の鍵」はペテロ個人に与えられたのでしょうか。

この「天国の鍵」についてイエス様は、マタイ 18：18 でこのようにも言われます。「**まことに、あなたがたに言います。何でもあなたがたが地上でつなぐことは天でもつなぐれ、何でもあなたがたが地上で解くことは天でも解かれます**」。ここでは、「天国の鍵」は「あなたがたに」、つまり「弟子たちに」与えられています。その意味で、「天国の鍵」は教会を建て上

げる「使徒たち」に与えられていると言えます。「使徒たち」とは、聖書を通して、イエス様こそ「生ける神の子キリスト」であると証言する人たちです。

現在、この「天国の鍵」と言われる「鍵の権能」は、聖書を解き明かし、イエス様こそ「生ける神の子キリスト」と説教する牧師と長老に委ねられています。牧師と長老は、「天国の鍵」を開き、人々を天国へと招き入れます。また牧師と長老は、「天国の鍵」を閉め、人々を天国から締め出します。では、牧師と長老は、どのように「天国の鍵」を開けたり、閉めたりするのでしょうか。それは、「伝道」と「戒規」によってです。

牧師と長老は、「伝道」を通して、人々に「天国の鍵」を開きます。そして、イエス様こそ「生ける神の子キリスト」ですという信仰を告白する人を天国へと招き入れ、イエス様をそのように信じ告白しない人を、締め出します。

また牧師と長老は、「戒規」を通して、人々に「天国の鍵」を閉ざします。一度はイエス様こそ「生ける神の子キリスト」ですという信仰を告白し、教会に招き入れられた人でも、イエス様を否定し、イエス様の御名を汚すような大きな罪から離れない人、牧師や長老からの度重なる忠告にも関わらず、それを受け入れない人には、「天国の鍵」を閉ざし、締め出します。しかし一度は「天国の鍵」を閉ざされ、締め出された人でも、真実に悔い改め、イエス様への信仰を新たにすれば、「天国の鍵」は開かれ、天国へと招き入れられます。

教会は、イエス様から「天国の鍵」を委ねられています。教会が「天国の鍵」を開かなければ、人々は天国に入ることはできません。教会が「伝道」を通して「天国の鍵」を開かなければ、人々は天国に入ることはできないのです。教会の責任は重いのです。

私たちは、「天国の鍵」を隠しておいてはいけません。私たちは、人々にイエス様を宣べ伝え、「天国の鍵」を開き、イエス様こそ「生ける神の子キリスト」ですと信じ告白する人を天国へと招き入れなければなりません。そのためにこそイエス様は、私たちに「天国の鍵」を委ねてくださったのです。

## **おわりに**

教会は、聖書に堅く立ち、イエス様こそ「生ける神の子キリスト」ですと信じ告白する者たちの集まりです。教会は、決して死に飲み込まれることはありません。教会は、キリストのからだとして、イエス様とまた一人一人と互いに、永遠に堅く結ばれているからです。教会は、イエス様から「天国の鍵」を委ねられています。私たちはまず何よりも、人々にイエス様を宣べ伝え、「伝道」を通して人々に「天国の鍵」を開いてかなければなりません。私たち教会が「天国の鍵」を開かなければ、人々は天国に入ることができないからです。教会がこの地域に存在している意味は、決して小さなものではありません。イエス様こそ「生ける神の子キリスト」ですという信仰は、決して人間の力によって得られるものではありません。神様の恵みによって与えられるものです。私たちは、祈りをもって、大胆に、かつ恐れをもって、委ねられた「天国の鍵」を用いていきましょう。

天におられる私たちの父なる神様。

あなたの御子イエス様が土台となる教会は、使徒たち、そして聖書の上に建てられました。聖書を通してあなたに心を開かれた者は、イエス様こそ「生ける神の子キリスト」であるという信仰を与えられ、「天国の鍵」を開かれます。

今あなたは私たち教会に、「天国の鍵」を委ねてくださいました。この「天国の鍵」を「伝道」と「戒規」によって、祈りをもって、大胆に、かつ恐れをもって管理していくことができますように。

この祈りを私たちの救い主イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。